

# クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内



TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和5年8月 第168号

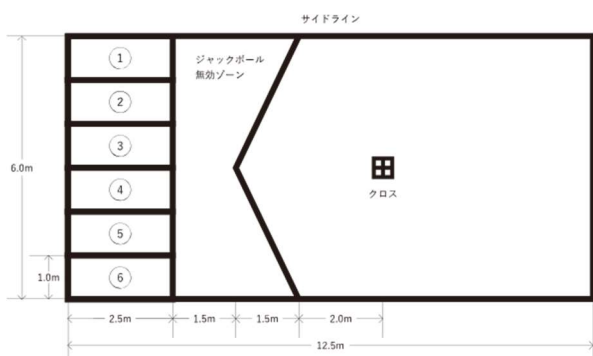
## 令和5年度鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア 中部サテライトセンター整備事業:倉吉サンリンク・スポーツ

令和5年7月7日(金)・21日(金)、倉吉市営体育センターで倉吉サンリンク・主催の「令和5年度鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア中部サテライトセンター整備事業<sup>※1</sup>」で「ボッチャ<sup>※2</sup>」を体験してもらいました。

※1 目的:鳥取県中部地区において、障がい者が気軽にスポーツをすることができる環境の整備を行い、障がい者のスポーツ実施をサポートする。障がい者スポーツ教室を実施することにより、それをサポートする人材を育成する。障がい者と健常者、子どもから高齢者まで、誰もが共に・気軽にスポーツを楽しめる環境を整備、提供を行う。

※2 ボッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白い球に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

2日間とも、一人ひとり決められたスローイングボックス内で投球してもらいました。  
チーム戦では、ボックス①～⑥(①③⑤が赤、②④⑥が青)を使用します。



決められたボックス内で投げると、移動範囲が狭いため、ジャックボール(目標球)の前に、相手ボールでガードされると、攻める場所が無くなり、とても投げ辛い状況になります。それでも、投げ方を工夫して、大きく上向きに投げて相手ボールを交わしてジャックボールに近づけるようにしたり、相手ボールにぶついたりして、何とかジャックボールに近づけるようにチームで作戦を立てながら対戦しました。

最初は、2名×2チームと3名×2チームで対戦し、途中参加者が増えたため、3人ずつの4グループに分け、1試合6エンドの総当たり戦で勝敗を決めました。

若い人の参加もあり、とても賑やかに体験・交流ができました。

ボッチャは戦略と集中力が求められるスポーツなので、やればやるほどその面白さにはまります。

フレイル予防<sup>※3</sup>にもなるので、多くの方に体験・継続していただきたいです。

※3 人は年を取ると段々と体の力が弱くなり。外出する機会が減り、病気になるまでも手助けや介護が必要となってきます。このように心と体の働きが弱くなってきた状態をフレイル(虚弱)といいます。

連絡先  
倉吉サンリンク・スポーツ事務局  
杉谷 哲治  
TEL:090-6436-9196  
E-mail:sanrink\_sugi@yahoo.co.jp

# 令和5年度県民まるごとスポーツ推進事業:にちなんスポーツクラブ



音楽のリズムに合わせてジャンプ



風船を足でトス



風船が上にある間に次の人にバトンタッチ

令和5年7月12日(水)、日南町体育館でにちなんスポーツクラブ主催の「県民まるごとスポーツ推進事業:みんなdeユニスボ※1」で「放課後運動遊び」を実施しました。

※1 年齢・性別・障がいの有無にかかわらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

【指導者】 青戸 武さん、足羽 覚さん

【内容】 コーディネーショントレーニング※2

- ・音楽のリズムに合わせて様々な動きのジャンプ
- ・風船を足でトスして繋げる。
- ・風船を上打ち、落ちてくるまでに次の人にタッチして床に落ちるまでに風船を打ち上げる。
- ・投げてもらった玉をコーンの穴でキャッチ
- ・コーンを横にして並べ、全部のコーンの穴に玉を入れる。
- ・コーンを机に並べ、玉を当てて倒す。
- ・大なわとび

※2 コーディネーショントレーニングとは、神経系に視点を置いたトレーニング方法で、「動きやすい身体をつくる」「自分の身体を思い通りに動かせるようになる」ことを目的としています。

今日は、小学1・2年生の参加があり、どの動きにも全力で取り組んでくれて、とても楽しそうに身体を動かしているのが印象的でした。

子どもたちは、コーディネーショントレーニングが始まる前も後もずっと動き回っていて、全く疲れた様子もなく、有り余るエネルギーに驚かされました。

遊びを通じて無理なくコーディネーショントレーニングを取り入れることができるので、大人から子どもまでの全ての人の運動能力を高めることができるコーディネーショントレーニングを、他のクラブでも取り入れてみてはいかがでしょうか。



玉をコーンの穴でキャッチ



玉をコーンに当てて倒す



大なわとび

連絡先

にちなんスポーツクラブ事務局

足羽 覚 TEL:090-8606-3135

青戸 武 TEL:090-7597-4390

E-mail:nichinan.sc@gmail.com



# 令和5年度県民まるごとスポーツ推進事業：倉吉サンリンク・スポーツ



狙うぞ～！



どれかに当たって～！



何故か当てる自信満々

令和5年7月22日(土)、倉吉サンリンク・スポーツ主催の「県民まるごとスポーツ推進事業：みんなdeユニスポ<sup>※1</sup>」で「モルック<sup>※2</sup>」が上小鴨コミュニティセンター芝生広場で開催されました。

※1 目的：年齢・性別・障がいの有無にかかわらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進する。

※2 モルックは、モルックと呼ばれる木の棒を投げて、スキttl(木製のピン)の倒れた合計得点が50点ぴったりに得点したチームが勝ちとなるゲームです。

今日は日差しも強く、気温も高かったのですが、モルックには最適な芝生の上でプレーしました。

学校で体験したことのある小学生や、初めて体験する大人の方も居られましたが、2名ずつの3チームに分け、3ゲーム行いました。

芝生にバウンドしたモルックが、イレギュラーな動きをしたり、弾まず急にストップがかかったりと苦戦しながらプレーしました。

スキttlの弾き方も土や屋内で行うよりダイナミックさに欠け、スキttlの広がり方も広範囲にならず、1本のスキttlを狙うことが難しい状況でしたが、各チーム50点目指して頑張りました。

奮闘虚しく3回連続でミスして失格になることもあり、他チームの失格により勝利したり、まさかという場面でピンポイントで命中し50点ピッタリになったりと、予想できない展開がありとても盛り上がりました。

初めて体験された方も、「やってみてとても楽しかった。今度はちゃんと作戦立ててやってみたい。」と好評でした。

まだまだ知られていない「モルック」ですが、体験してみるととても楽しく、年齢・性別等関係なくプレーできるので、もっと多くの方に体験していただきたいです。



初モルックです。



フォームがプロです。



集合写真

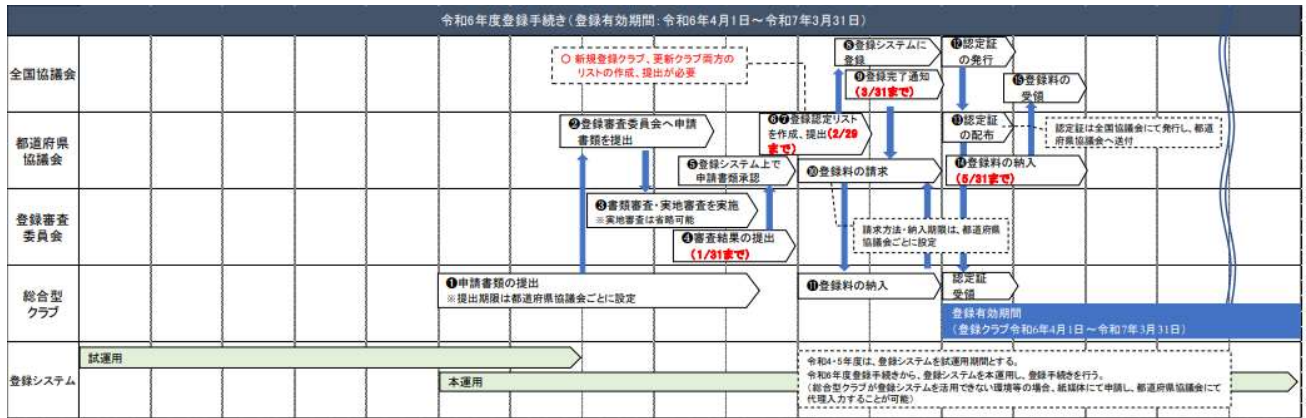
連絡先  
倉吉サンリンク・スポーツ事務局  
杉谷 哲治  
TEL:090-6436-9196  
E-mail:sanrink\_sugi@yahoo.co.jp

# 「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度登録システム」について

令和5年7月14日(金)、日本スポーツ協会主催で「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度登録システム」の説明会が、都道府県体育・スポーツ協会総合型クラブ育成事業担当者・都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会担当者を対象に開催されました。

## 【内容】

- ① 令和6年度登録手続きについて  
・スケジュール



令和5年9月→総合型クラブから鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会への申請書を提出  
(登録システムを活用して登録手続きを行う。)

令和6年2、3月→登録料を鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会へ納入(登録料 1年間 5,000円)

令和6年4月→認定証の発行(登録有効期間は令和6年4月1日~令和7年3月31日)

- ② 登録システム利用方法について

・登録システム概要→申請から承認までをシステム上で行う。

・クラブにおける利用方法

登録システムを利用するには、FormBridgeのリンクより、団体情報等を入力し、アカウントを作成します。

登録したメールアドレスにログインユーザー管理受付のお知らせメールが届きます。

メールに記載のURLよりログイン画面を開き、パスワードの変更を行います。

申請書類①~⑩に記入または添付し申請します。

鳥取県連絡協議会で確認し承認の可否を判断します。

不備等ある場合は、クラブに対して修正し再度申請するよう依頼します。

申請書類①の「適切な指導者を配置している。」を満たしてなくても、当面の間は移行措置として登録を不可とすることはありません。

鳥取県では、20クラブ中9クラブが登録クラブとして連絡協議会に加入しています。現状、総合型クラブを取り巻く環境はほぼ変わっていません。登録することでクラブにメリットがあるような環境が確保出来たらと思います。

また、申請が近づきましたら、県連絡協議会事務局より案内いたします。